

No.12 ICT 機器を使って、持続可能な動物生産について考えよう！

■ 講座内容

皆さんはおいしいお肉の向こう側にどんな世界があるのかご存じですか？実は、畜産物などの動物生産領域が置かれている状況に目を向けると、国際社会の中で産業動物・環境・ヒトを取り巻く様々な要因が見えてきます。近年では、生物多様性への配慮も必要になり、動物や環境やヒトが関わる社会的課題がたくさん転がっています。本講義では、「家畜の“エサ”とヒトの“食料”」の違いに注目し、動物目線の環境(アニマルウェルフェア)や飼育管理技術を知り、最近話題のプログラミングツールをどのように使えばよいかについて、皆で考えたいと思います。ヒトと動物の関係や環境保全の重要性を知り、持続可能な動物生産に求められる要因を見つめましょう。

■ 開講日時 6月8日(土)～7月6日(土) (全3回)

■ 担当講師 松本 由樹(香川大学農学部准教授)

■ 募集人員 20人

■ 受講対象 一般成人、小・中・高校生(iPad Pro, MESHを使ったプログラミングに興味がある方)

■ 会 場 香川大学地域連携・生涯学習センター

■ 受講料 一般成人5,000円、小・中・高校生2,500円

■ 受付締切 5月31日(金)

回	月 日	時 間	テーマ
1	6月 8日(土)	10:30 ~ 12:00	家畜の“エサ”とヒトの“食料”
2	6月15日(土)		持続可能な動物生産を考える
3	7月 6日(土)		ICT 機器で動物の情報を収集してみよう

※香川大学農学部では畜産学講義で、iPad Pro, MESH タグ, M5Stack, Microbit 等のプログラミング機器を活用した授業を行っています。農学部学生への実施事例等、実用事例をご紹介します。